

# 皆さんの医療費の状況をお知らせします!!



共済組合では「医療費適正化対策事業」の一環として、平成25年度及び平成26年5月分のレセプト(診療報酬明細書)をもとに、19種類の病類別で医療費統計を行いました。どのような病気で病院にかかっているのか、1人当たりどれくらいの医療費が使われているのか、年齢によってどのような病類が多いのかなどの目安になります。また、組合員の皆さまには年2回の医療費通知を行っておりますので、日頃から医療費への関心をもっていただくことが、皆さまの健康と健全な医療保険制度の運営につながります。

## 1ヶ月の総医療費



平成26年5月の総医療費は約13億3,469万円で、前年同月と比較すると-3.1%となっています。

年齢階層別にみると、0～4歳までの幼児期と40歳から64歳までの高年齢層が多い傾向があり、55歳～59歳では特に多く約2億1,700万円となっています。

| 平成26年5月      | 平成25年5月      | 前年比 (%) |
|--------------|--------------|---------|
| 1,334,694 千円 | 1,377,835 千円 | -3.1%   |

## 1人当たりの医療費

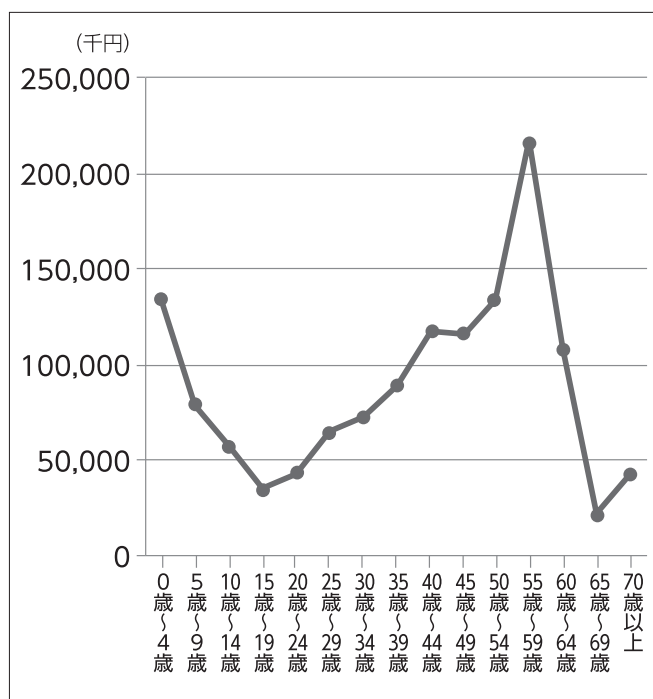


平成26年5月の1人当たりの医療費は約12,105円で、前年同月と比較すると-2.1%となっています。

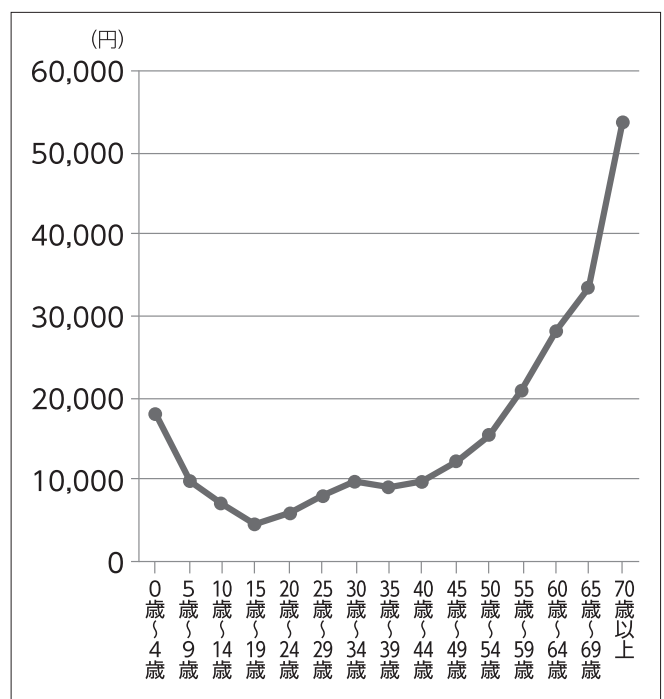
年齢階層別では幼児期と高年齢層が高い傾向にあり、35歳以上から年齢とともに高くなり、45歳以上では全体の1人当たりの医療費を超えています。

| 平成26年5月  | 平成25年5月  | 前年比 (%) |
|----------|----------|---------|
| 12,105 円 | 12,369 円 | -2.1%   |

## 平成26年5月の年齢別総医療費



## 平成26年5月の年齢別 1人当たりの医療費



## 医療費を疾病分類別にみると

入院と外来における医療費を疾病分類別にみると、入院では治療自体が高額で、長期治療が必要な「新生物」(主にがん)が全体の約21%を占め1位となっています。2位は高血圧や心疾患など治療が高額になる「循環器系の疾患」が約16%、3位には「妊娠・分娩」が約9%となっています。

外来ではかぜやアレルギー性鼻炎などを含む「呼吸器系の疾患」が件数、医療費とも1位で全体の17%を占めています。2位は「循環器系の疾患」が約10%、3位は糖尿病などを含む「内分泌系の疾患」が約9%となっています。

### 平成 26 年 5 月の疾病分類別件数と医療費

#### 入院

|    | 疾病分類名            | 件数  | 金額 (円)     |
|----|------------------|-----|------------|
| 1  | 新生物              | 99  | 66,086,870 |
| 2  | 循環器系の疾患          | 60  | 50,767,760 |
| 3  | 妊娠、分娩及び産じょく      | 102 | 27,804,440 |
| 4  | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 56  | 23,693,330 |
| 5  | 周産期に発生した病態       | 44  | 22,969,510 |
| 6  | 消化器系の疾患          | 64  | 22,612,790 |
| 7  | 精神及び行動の障害        | 42  | 16,714,180 |
| 8  | 呼吸器系の疾患          | 47  | 16,168,210 |
| 9  | 神経系の疾患           | 29  | 13,102,230 |
| 10 | 筋骨格系及び結合組織の疾患    | 20  | 8,837,230  |

#### 外来

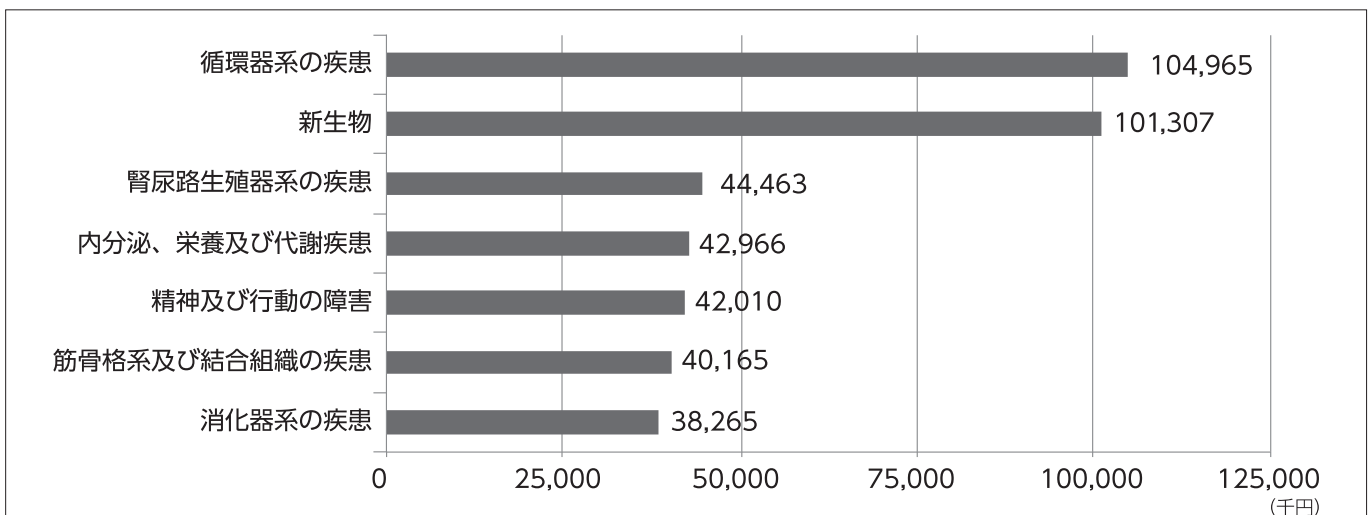
|    | 疾病分類名         | 件数     | 金額 (円)     |
|----|---------------|--------|------------|
| 1  | 呼吸器系の疾患       | 14,530 | 98,771,490 |
| 2  | 循環器系の疾患       | 5,133  | 56,017,370 |
| 3  | 内分泌、栄養及び代謝疾患  | 3,401  | 51,841,850 |
| 4  | 腎尿路生殖器系の疾患    | 1,844  | 48,766,700 |
| 5  | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 3,762  | 44,354,500 |
| 6  | 眼及び付属器の疾患     | 6,508  | 42,714,900 |
| 7  | 新生物           | 1,444  | 37,551,290 |
| 8  | 消化器系の疾患       | 2,831  | 34,583,770 |
| 9  | 皮膚及び皮下組織の疾患   | 6,305  | 33,568,150 |
| 10 | 精神及び行動の障害     | 2,946  | 28,497,280 |

## 40歳以上の疾病分類をみると

日本人の死因別死亡割合の約6割を占める生活習慣病関連の疾病について集計した結果、その医療費は40歳代で57%、50歳代で67%、60歳代では73%となっています。

このことから、40歳以上の疾病分類別医療費に注目すると、高額な治療が必要となる「循環器系の疾患(高血圧や心疾患など)」と長期治療が必要な「新生物(主にがん)」がとび抜けて多くなっています。

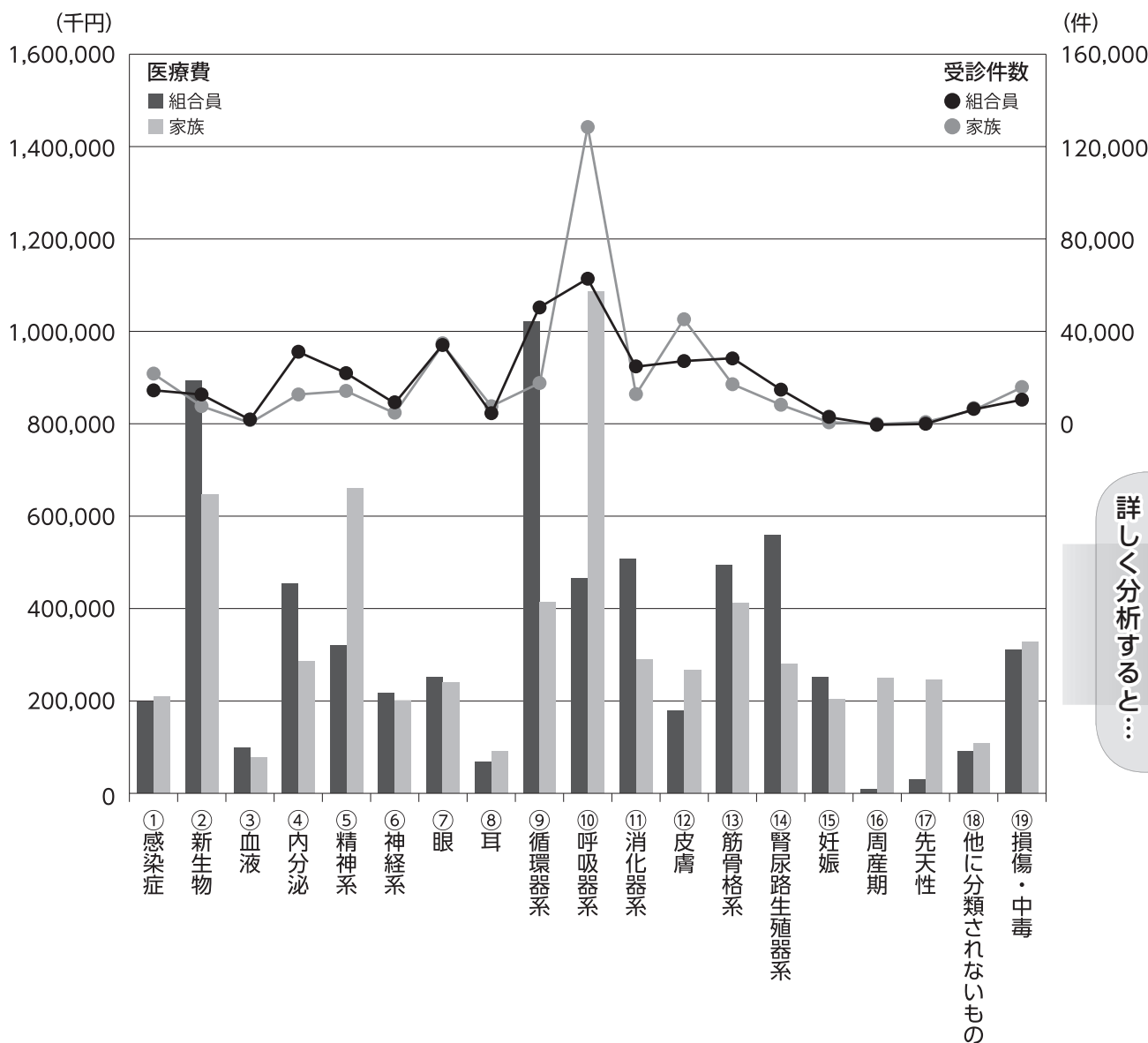
### 平成 26 年 5 月の 40 歳以上の疾病別医療費



## 平成25年度の医療費と件数を疾病分類別にみると

組合員と家族を合わせた合計では「呼吸器系の疾患」が件数、医療費ともにトップで、「新生物」、「循環器系の疾患」、「精神及び行動の障害」と続きます。

組合員でみると「循環器系の疾患」、「新生物」の医療費が多いことがわかります。家族では「呼吸器系の疾患」、「精神系の疾患」、「新生物」の医療費が多くなっています。また、近年増加がみられる疾病として統合失調症やうつ病を含む「精神系の疾患」を挙げることができます。特に家族の精神系の疾患が高いことがわかります。



さらに年齢階層別に詳しく分析すると：

| 項目     | 主な傷病名        |
|--------|--------------|
| ① 感染症  | 結核、ウイルス肝炎    |
| ② 新生物  | 腫瘍、白血病、がん    |
| ③ 血液   | 貧血           |
| ④ 内分泌  | 糖尿病、脂質異常症    |
| ⑤ 精神系  | うつ病、統合失調症    |
| ⑥ 神経系  | パーキンソン病、てんかん |
| ⑦ 眼    | 結膜炎、白内障      |
| ⑧ 耳    | 外耳炎、メニエール病   |
| ⑨ 循環器系 | 高血圧症、脳梗塞     |
| ⑩ 呼吸器系 | かぜ、アレルギー性鼻炎  |

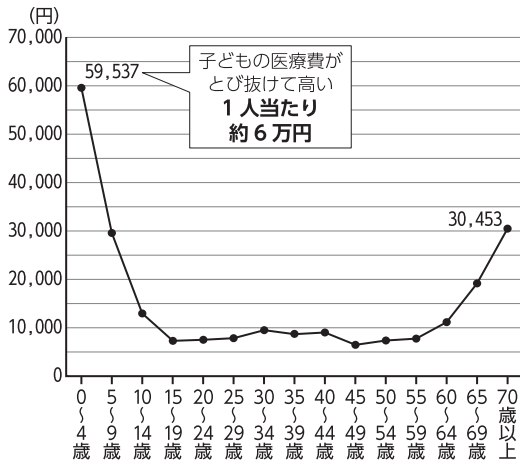
| 項目           | 主な傷病名     |
|--------------|-----------|
| ⑪ 消化器系       | むし歯、胃炎、肝炎 |
| ⑫ 皮膚         | 湿疹、にきび    |
| ⑬ 筋骨格系       | 関節症、腰痛    |
| ⑭ 腎尿路生殖生殖器系  | 腎不全、尿路結石症 |
| ⑮ 妊娠         | 流産、切迫早産   |
| ⑯ 周産期        | 胎児発育の障害   |
| ⑰ 先天性        | 染色体異常     |
| ⑱ 他に分類されないもの | —         |
| ⑲ 損傷・中毒      | 骨折、やけど    |

# 1人当たりの医療費を疾病分類別にみると

$$\text{1人当たりの医療費} = \frac{\text{疾病分類ごとの総医療費}}{\text{平均組合員数} + \text{平均被扶養者数}}$$

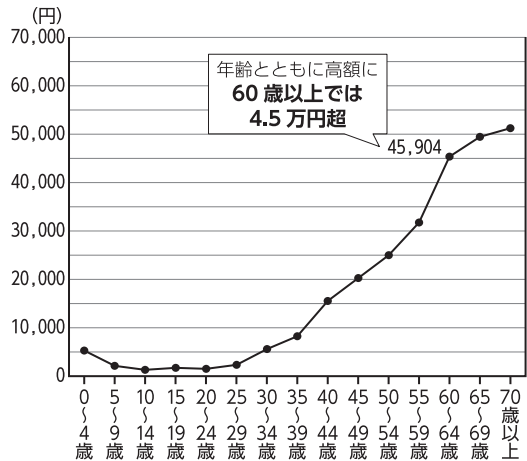
## 呼吸器系の疾患

かぜ、アレルギー性鼻炎、喘息等を含む呼吸器系の疾患では0歳～9歳と65歳以上で高い傾向にあります。特に乳幼児期は6万円弱とび抜けて高くなっています。



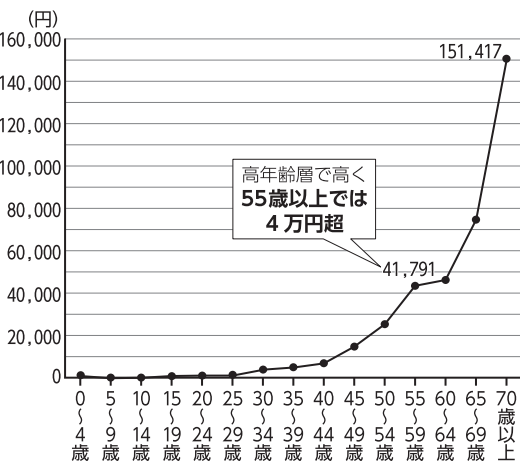
## 新生物

乳がん、胃がん、肺がんなど主にがんの疾患で、40歳未満では1万円以内に収まっていますが、年齢とともに徐々に高くなり、60歳以上では4万5,000円を超えています。



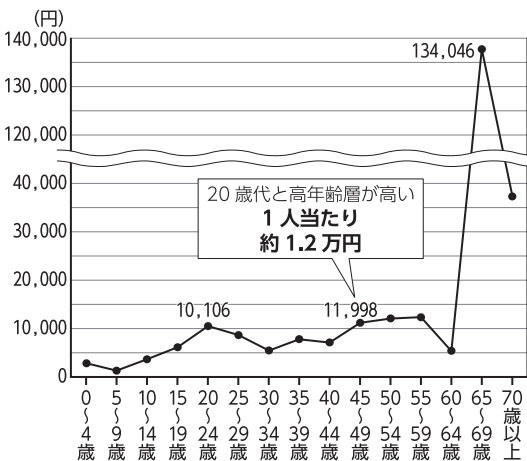
## 循環器系の疾患

循環器系の疾患では狭心症などを含む心疾患や脳内出血などの脳疾患が多くみられ、50歳まではほぼ横ばいですが、50歳を超えると一気に増加します。



## 精神系の疾患

精神系の疾患では統合失調症が多くみられ、20歳代で約1万円、45歳～59歳で約1万2,000円となっています。また、65歳～69歳では13万円を超えています。



これまでの統計・分析から依然として高血圧やがん、心疾患などの生活習慣病関連の医療費が多いことがわかります。また、その一方でかぜやアレルギー性鼻炎など身近な病気も件数が多いことから、うがいや手洗いなど予防に努めることで医療費を減らすことができます。

生活習慣病は肥満から高血圧症、脂質異常症、糖尿病などに進行することで重症化を招き、その医療費も高額になります。年に一度は健診を受け、運動や食事、禁煙、飲酒など、日頃の生活習慣を見直し、元気で健康的な暮らしを目指しましょう。

お問い合わせ先 保険課 ☎048-822-3306